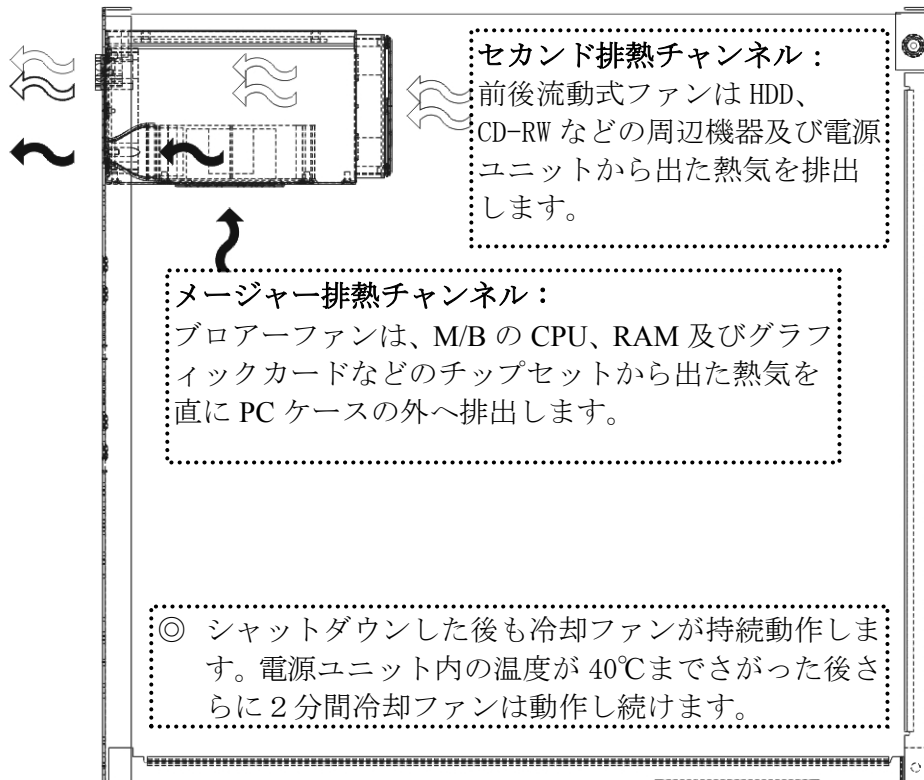


日本語

この度はクーラージャイアント・シリーズ電源ユニットをご購入頂き、誠にありがとうございます。この電源ユニットはシステムの安全性を高めるため高品質な安定出力を供給し、多重保護回路を備えます。また独自のブローア・ファン+デュアル・ファン・デザイン及びスマート・ファン・コントロール機能によってシステムに対してより優れた冷却効果を供給することができます。

クーラージャイアント・ブローア・ファン&デュアル・ファンのデュアル排熱チャンネルのデザインについて



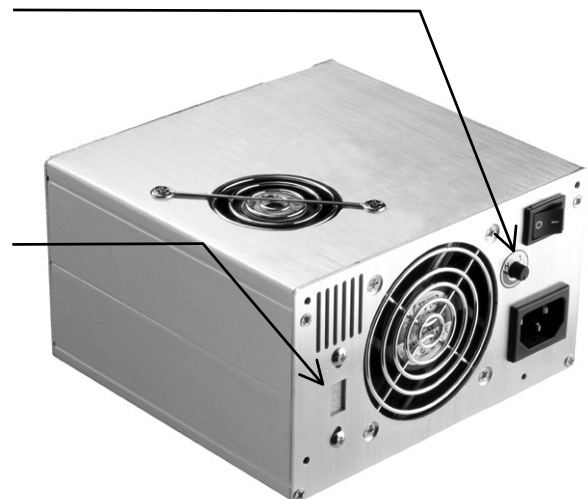
ファン速度調整可能ノブ：

ブローア・ファン及びデュアル・ファンの回転速度をコントロールします。システムの温度が高い場合には自動的に回転速度をアップして排熱を速めます。



電圧スライド・スイッチ(Pシリーズのみ)：

ご使用の電圧に相応しい位置に設定してください。(115V/230V) 電圧設定を間違えることにより、電源ユニットの起動ができないことや、電源ユニットを破損する可能性も有ります。



安全上のご注意

1. 注意！ 電源ケースの上蓋を開けないでください！
危険防止のため、無断で電源ケースを開けることは絶対におやめください。無断で電源ケースを開けると、保証書は無効とみなされます。
2. 電源は湿気のない場所に保管してください。

製品の特徴



- ➔ **ATX 12V V2.0 対応:**
最新の P4 Prescott (プレスコット) と Athlon (アスロン) 64/64 FX プラットフォームをサポート。P4 プラットフォームは 875 (Canterwood) と 865 (Springdale) チップセット、またはより新しい Intel 925 (Alderwood)、915 (Grantsdale)、次世代 CPU をご使用ください。
- ➔ **山洋電気製ブロアーファン:**
高品質の山洋電気 8cm ブロアーファンを採用し、CPU、RAM 及びグラフィックカードなどのチップセットから出た熱気を直接 PC ケースの外に排出してシステムの冷却効果を強化します。
- ➔ **スマートファン:**
システムをシャットダウンした後もブロアーファンが最低 2 分間作動を続け、PC ケース内のパーツとハードウェアを効果的に冷却します。このため、パソコンケース内のハードウェアの寿命を延ばすことができます。
- ➔ **2 系統 12V 出力:**
独立した 2 系統の 12V 出力がそれぞれ MB/CPU や HDD に給電し、CPU や AGP カードなどのノイズに敏感なデバイスに安定したクリーンな電流を供給することができます。
UL 240VA 安全要求準拠
- ➔ **S-ATA コネクタ:**
システムをより速い S-ATA インターフェイスに接続し、性能アップを図ります。
- ➔ **手動および自動ファン速度コントロール:**
自動調節機能と手動調節つまみによる速度コントロールにより、ユーザが冷却効果と静音性のバランスを調整することができます。
- ➔ **信頼性:**
OCP、UVP、OVP、OLP、OTP、SCP 回路はシステムをすべてのダメージから守り、ハードウェアと大切なデータの安全性を最大限に高めます。
- ➔ **リング コア:**
同じ動力源 (つまり AC コンセント) についている器具へ電源から電磁パルスが漏れるのを効率的に防ぎます
- ➔ **アクティブ PFC 機能: (AX シリーズのみ)**
満載状態で 230VAC/50Hz PF 値 0.99
- ➔ **FM 機能:**
8cm 排気ファン RPM シグナル搭載

取り付け手順

1. 電圧の選択

Pシリーズの場合



AC 電圧スライドスイッチが正しい電圧

(115V または 230V)セクションに設定されていることを確認します。AC 電圧を間違って選択すると、電源ユニットが損傷します。

AX (G)シリーズ(アクティブ PFC)の場合

これらのシリーズ電源ユニットは 200~240VAC でのみ作動します。



110VAC は適用できません。手動で電圧調整をする必要はありません。

AX (W)シリーズ(アクティブ PFC ユニバーサル)の場合

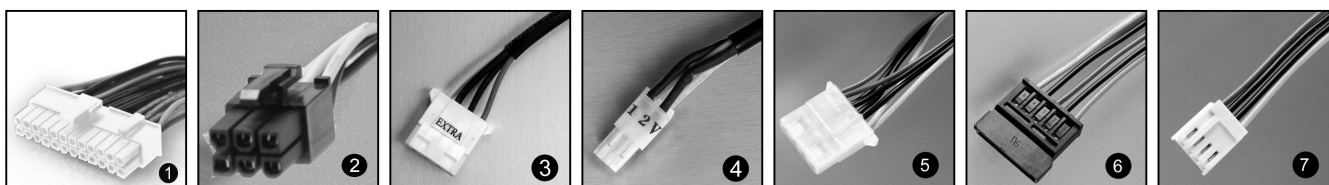
電源ユニットは使用電圧(100~240VAC)を自動的に検出します。手動による電圧調整は必要ありません。



2. 電源ユニットを PC ケースに取り付け

それぞれのマザーボードが要求するパワー接続は、各メーカーの設計により異なる場合があります。電源接続の詳細な説明については、マザーボードのマニュアルを参照してください。

3. マザーボードへの接続



24 ピンのメインパワーコネクタ(図 1)をマザーボードの接続コネクタに差し込みます。

- **モデル No. - EG435P/AX ; EG485P/AX** : 12 ボルトのサポートに特別のコネクタを要求する高機能 PCI-E 16X グラフィックカードを搭載している場合、6 ピン(2x3)コネクタ(図 2)を使用してください。この 6 ピン 12V パワーコネクタはグラフィックカードに安定した電流を提供します。
- **モデル No. - EG335P/AX ; EG385P/AX** : 特別な電源サポートを要求する高性能グラフィックカードをご使用の場合、“EXTRA”とラベルされた 4 ピンコネクタを使用してください。この 4 ピン Extra 電源コネクタは、グラフィックカードに安定した電流を提供します。(図 3)
- この 4 ピン 12V パワーコネクタはプロセッサに電力を供給するためのものです。必要に応じて、マザーボードの対応するコネクタに差し込んでください。(図 4)

4. ドライブとペリフェラルへの接続

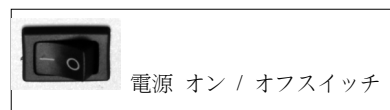
4ピンコネクタ、シリアル ATA コネクタ、4ピンフロッピーコネクタを対応するペリフェラルデバイスに接続します。(図5; 図6; 図7)

5. ファンモニタ機能を搭載する電源ユニットの場合の注意事項(FM/FMA/SFMA):

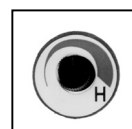
マザーボードに電源ユニットファンの回転数(RPM)を検出させるには、電源ユニットファン RPM コネクタ(図8)をマザーボードの PWR_FAN コネクタに差し込んでください。このコネクタが接続されていない場合でも、電源ユニットファンは正常に作動します。

6. 全てのコネクタを再びチェックします。

全てのデバイスと周辺装置が正しく接続されていることを確認します。ACコードをACインレットに差し込みます。オン/オフ(I/O)スイッチを“T”位置まで押すと、システムはいつでも使用できます。



ファン速度調整可能なモデルの場合: ノブを調節して電源ユニットファン速度をコントロールします。ファン回転数 (RPM) は、過熱を防ぐために、システムローディングに従って手動でコントロールしたり自動的に調整できます。



仕様

I. Coolergiant® ATX 12V 電源シリーズのモデルナンバー

| | 330W | 380W | 430W | 480W |
|---------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| Standard Model | EG335P-VHB | EG385P-VHB | EG435P-VHB | EG485P-VHB |
| Active PFC 230VAC only | EG335AX-VHB(G) | EG385AX-VHB(G) | EG435AX-VHB(G) | EG485AX-VHB(G) |
| Active PFC 100-240VAC | EG335AX-VHB(W) | EG385AX-VHB(W) | EG435AX-VHB(W) | EG485AX-VHB(W) |

II. AC 入力範囲

標準機種【P シリーズ】

AC 入力電圧は電源コード差し込み口付近にスライド可能なセレクターが装備されています。必ず電源を装着・検証前に利用される環境に合った電圧に設定してください。

| | 最低 | 標準 | 最大 | 単位 |
|----------------|-----|-----|-----|------|
| Vin=100-120VAC | 95 | 115 | 135 | Vrms |
| Vin=200-240VAC | 180 | 230 | 265 | Vrms |

アクティブ PFC 230VAC 機種【AX (G) シリーズ】

| | 最低 | 標準 | 最大 | 単位 |
|------------|-----|-----|-----|------|
| Vin=230VAC | 180 | 230 | 265 | Vrms |

アクティブ PFC 100-240VAC 機種【AX (W) シリーズ】

AC 入力電圧はお使いの場所で供給される AC 電圧に適応するように自動的に切り替わります。

| | 最低 | 標準 | 最大 | 単位 |
|----------------|----|---------|-----|------|
| Vin=100-240VAC | 90 | 100~240 | 265 | Vrms |

III. DC 出力

- 最大 DC 出力電流 +5Vsb: 2.5A
- Coolergiant® ATX 12V 電源シリーズの電力分配設定:

| モデル No. | +5V | +3.3V | +12V1 | +12V2 | -12V | +5Vsb | 総合電力 |
|---------|-----|-------|-------|-------|------|-------|------|
| EG485 | 32A | 32A | 18A | 18A | 0.8A | 2.5A | 480W |
| | | | 32A | | | | |
| EG435 | 30A | 30A | 18A | 18A | 0.8A | 2.5A | 430W |
| | | | 29A | | | | |
| EG385 | 27A | 27A | 18A | 18A | 0.8A | 2.5A | 380W |
| | | | 27A | | | | |
| EG335 | 24A | 24A | 16A | 16A | 0.8A | 2.5A | 330W |
| | | | 23A | | | | |

IV. 保護

電源は過負荷に対応するように設計されているため、定額電圧を超えるとショートします。保護内容は以下の通りです:

1. 過電圧保護

電源には過電圧保護のために以下のラッチモードが搭載されています。

| DC 出力 | 最低 | 最大 | 単位 |
|------------|------|------|-------|
| +5VDC | 5.5 | 7.0 | Volts |
| +3.3VDC | 3.76 | 4.6 | Volts |
| +12V1, 2DC | 13.4 | 15.6 | Volts |

2. オーバーロード/ショート回路保護

電源には極限電力が設定されており、電源部品の破損を防ぐためにオーバーロード保護とショート回路保護が提供されています。オーバーロードやショート回路起動時、主電源は 50 ミリ秒以内にシャットダウン状態に入ります。+5Vsb は自動回復保護モードとして設計されています。オーバーロード保護感知レベル: 最大負荷の 110-160%。

3. 過電流保護

電源には出力過電流のために以下のラッチモードが搭載されています。

| DC 出力 | 保護ポイント (最高) | 単位 |
|----------|-------------|----|
| +3.3V | 55 | A |
| +5V | 48 | A |
| +12V1, 2 | 20 | A |

4. 過熱保護

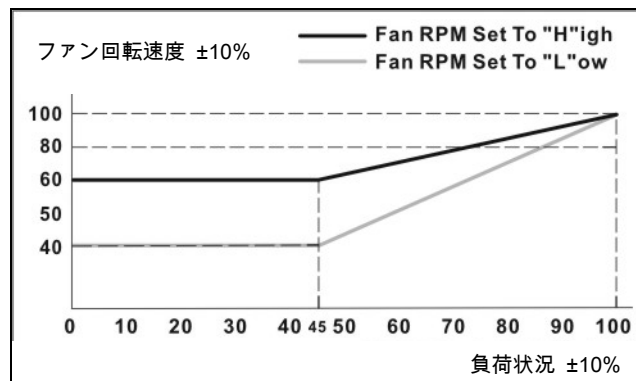
電源には予め設定した温度に達すると回路が切断され、電源をシャットダウンする過熱保護センサーが搭載されていることがあります。こうした過熱現象のほとんどは内部の過重電流や冷却ファンの故障によるものです。

5. シャットダウン後のリセット

出力エラーにより主電源がシャットダウンした場合、エラーが解除され、1秒以上“PS-ON”の電源をオフにしてから再度電源を入れた後、通常操作に戻ることができます。

V. クーラージャイアント シリーズ 手動&自動サーマルファンコントロール

ユーザは静音性と冷却効率の必要に応じて、背面ボリュームによりブローア・ファン及び前後デュアル・ファンの回転速度を調整することができます。このほか、電源ユニットにはサーマル・ファン・コントロール回路が設置されているので、ファンはシステムの実消費電力によって自動的に回転速度を調整して、電源ユニットに適切な冷却効果を提供します。8cmファンは、タコメーター信号出力を介して、BIOS またはソフトウェアにより監視されます。



VI. 簡易トラブルシューティング

電源が正常に機能しない場合、以下を確認してください:

1. AC電源コードがAC電源コンセントまたは電源の差込口にしっかりと接続されていますか?
2. 主電源コネクタがM/Bに正しく接続されているかどうかを確認してください。
3. 電源を入れた時にショート保護回路が稼動した場合、出力コネクタ（周辺機器&フロッピー）のプラグが正しい方向に接続されているかどうかを確認してください。

4. I/O スイッチを数回切ったり入れたりしてください。その際、最低 5 秒間間隔を置いてください。
5. 上記のステップを踏んでもまだシステムが起動しない場合、電源ユニットを取扱店または販売店にお持ちになり、交換または修理を依頼してください。
6. 電源ユニットを取扱店または販売店にお持ちになる前に、このマニュアルの最後のページにある質問表に記入し、電源ユニットに付随してください。問題点を発見し、より迅速に処理することができます。

VII. 安全基準と EMC

当社の電源ユニットは国際安全規格および EMC 指令に符合しています。

安全基準: P シリーズ: UL, cUL, TÜV

AX シリーズ: UL, cUL, VDE, SEMKO, DEMKO, NEMKO, FIMKO

EMC: FCC, CE (AX シリーズ) , CNS